

資料3

■ 令和8年度 大阪府債発行計画（案）

（単位：億円）

区 分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合 計	
市場公募債	10年	100	100	100	100	100	100	600	150	150	150	150	150	150	900	1,500	3,000
	5年	100	100	100	100	100	100	600	150	150	150	150	150	150	900	1,500	
銀行等引受債	証券	5年						0	100						100	100	300
	証書							0	200						200	200	
フレックス枠		1,100±α														1,100±α	
共同発行債	10年	820														820	
合 計																5,220±α	

（注）本計画は、民間資金にかかる月別の発行予定額であり、市場環境等により変更する場合がある。

フレックス枠とは、発行計画の策定に際し、時期や年限、総額等をあらかじめ定めず、市場の環境や投資家のニーズに応じて機動的に発行する枠である。

α：変動要素

○令和8年度発行計画の具体的な考え方

(1) 市場公募債(10年・5年)

- ・ 総発行量の増加、特に下期の借換債の増加を踏まえ、1回の発行ロットを上期100億円、下期150億円とし、毎月発行を予定

(2) 銀行等引受債(証券・証書)

- ・ 多様な調達手法を維持するために、下半期に1回の発行を予定

(3) フレックス枠

- ・ 事業費の確定等に応じた調整を前提として発行額を設定
- ・ 発行年限や調達手法の多様化の観点から、時節に合った年限やグリーンボンドに取り組む予定

(4) 共同発行債

- ・ 令和7年度と比べ府債発行総額が増加する見込みのため、安定調達を行う観点から持寄額の上限(800億円)を計上
- ・ グリーン共同発行債に20億円を計上